

# 研究センター開設記念HbpMSセミナー

## 医療介護総合確保の中核 地域包括ケアシステムのマネジメントを考える

日時 5月12日 13:00~16:30 土

場所 広島県庁講堂  
広島市中区基町10番52号

定員  
160名  
参加無料

記念講演

### 地域包括ケア・マインドの医師の育成は急務!!

～医師育成の卒前から生涯にわたる全過程に「地域包括ケア学習プログラム」を組み込む必要がある～

岩崎 榮 先生 (卒後臨床研修評価機構JCEP専務理事、日本医科大学法人顧問、元同医科大学主任教授)



パネルディスカッション

### 地域包括ケアシステムのマネジメント

～社会システムデザイン論からシステム構築と運営を考える～

ファシリテーター

西田 在賢 センター長 (HBMS教授、ヘルスケアマネジメント分野担当)

パネリスト

神田 裕二 センター顧問 (HBMS特任教授、前厚生労働省医政局長、元厚生労働省医薬食品局長)

山口 昇 センター顧問 (公立みつぎ総合病院名誉院長・特別顧問、前広島県地域包括ケア推進センター長)

横山 禎徳 HBMS研究科長 (東京大学エグゼクティブ・マネジメント・プログラム責任者、元マッキンゼー日本支社長)

スケジュール

13:00 開演	栗栖センター運営相談役 学長挨拶 来賓挨拶(湯崎英彦県知事ほか)
13:20 ~ 14:00	【記念講演】岩崎榮先生
14:00 ~ 14:15	休憩
14:15 ~ 16:25	【パネルディスカッション】 西田在賢センター長 (ファシリテーター) 神田裕二顧問「地域自らつくる包括ケア…医療から見た課題」(20分) 山口昇顧問「地域包括ケアシステムの創出者が見るマネジメント課題」(25分) 横山禎徳研究科長「社会システムデザインにおける課題設定の重要性」(25分) ディスカッション
16:30 閉会	岡野MBA業務推進担当室長

HbpMSとは

HBMS+HPMS (Hiroshima Business and Management School+Health Policy and Management Studies)

医療経営学(Health Policy and Management)の視座から、国による社会保障の重要政策、医療介護総合確保推進に関する研究を行い、その成果をもって広島県をはじめとする全国における医療介護総合確保推進のための制度・政策や事業経営のマネジメントにあたる人材養成の実践につなげる。

お申し込み方法

申込締切:平成30年5月1日(火)  
HBMSのウェブサイトまたはお電話にてお申し込みください。



## 研究センター開設記念HbpMSセミナー

### 医療介護総合確保の中核 地域包括ケアシステムのマネジメントを考える

このたび県立広島大学の専門職大学院経営管理研究科(HBMS, Hiroshima Business and Management School)いわゆるビジネススクールでは、設立時より唱えますヘルスケアマネジメント人材養成を推進する機関としてHBMS地域医療経営プロジェクト研究センター(HBMS Commons for Health Policy and Management Studies)を開設いたしました。これを記念して医療政策経営研究セミナーを開催いたします。

本センター長を務めます私は、以前、専門誌に「わが国地域包括ケア考」(社会保険旬報No.2562:18-22, No.2563:22-28, 2014年)なる論説を発表いたしました。これは、2012年4月に国の法令により全国の市町村において地域包括ケアシステムの構築に取り組むことになったにもかかわらず、ほとんどの自治体で同システムの構築が進まず、厚生労働省のシンクタンク、医療経済研究機構が2013年4月に公表した調査で「都道府県・広域単位の機関・組織の役割も含めて、『地域包括ケア』概念の見直しが求められていると思われる」との報告もあり、そのような状況の中で地域包括ケアシステム構築に関連して私が2011年秋から2013年秋までの2年間に医療介護に従事する専門家や同分野の研究者、行政関係者が集う大小様々な政策研究会を8回にわたって企画開催し、同システムの構築とマネジメント課題についての考察を論述したものでした。ちなみにこの論説ではけっして結論があったわけではなく、地域包括ケアシステムの構築運営研究の中間報告でした。

あれから4年を経た今、研究の場が広島に移り、おかげで地域包括ケアシステムの創出者である山口昇先生(公立みつき総合病院名誉院長・特別顧問)の警咳に接することができ、また、所属する県立広島大学経営管理研究科HBMS研究科長の横山禎徳先生(東京大学エグゼクティブ・マネジメント・プログラム責任者、元マッキンゼー日本支社長)が長年にわたり社会システムデザインを研究されますことから、このたび本学で開設認可されましたHBMS地域医療経営プロジェクト研究センターの記念セミナーにおいて地域包括ケアシステムの構築の実践と理論の両面から考え、改めて地域包括ケアシステムのマネジメントについて考えることで、本研究センターの使命とします「**医療介護総合確保推進のための制度政策や事業経営のマネジメント人材養成の研究と実践**」の端緒にしたいと考えます。

本セミナーでは、私の師であり、センター顧問の山口昇先生のご朋友であられます岩崎榮先生(卒後臨床研修評価機構JCEP専務理事)から地域包括ケア・マインドを抱く医師の養成が急がれる旨のお考えをたまわりました上で、昨夏まで医療介護総合確保推進において地域包括ケアシステム構築と両輪を成す地域医療構想の進展を指揮された前厚生労働省医政局長で当センター顧問の神田裕二先生から、市町村がもっと主体的に関わって地域に合致した包括ケアを考えてシステムを築いていく必要がある旨の問題提起をいただきます。続いて地域包括ケアシステムの名付けの親であり、長年にわたって同システムの構築を実践される山口先生からマネジメントの課題等をお聞きし、また同システム構築にかねてよりご関心を向けられる横山先生から社会システムデザインのアプローチをご教示いただいたのちに討議に入りたいと考えます。

本分野にご関心のある皆様方のご参集を心よりお待ちしております。

2018(平成30)年3月吉日

HBMS地域医療経営プロジェクト研究センター長 西田 在賢